

子どもたちの創造性を育てて 地域をつなげる活動です。

創造力は生きる力。何かを創り出すことが楽しければ、創ったものは人のためになり、社会をより良くして、地域のつながりが強くなります。

わたしたちの活動

「COLOMAGA Project」は子どもたちが自分の住む「まち」を取材し、プロのクリエイターと一緒にその「まち」オリジナルのローカルマガジン（地域情報誌）を作るプロジェクトです。大人達は、その子ども達のさまざまな活動を支え、異種多世代の交流を促進していきます。

自分の住んでいるまちの楽しい情報を、そのことを知らない人たちに伝えるため、知らない人と出会い、コミュニケーションを取り、自分のセンスで写真を撮って、イラストを描いて、文章を書くために専門家から様々なレクチャーを受けます。そこで教わったスキルを活かして、ローカルマガジン（地域情報誌）を作ります。

子どもたちが、取材を通して出会った人たちとのコミュニケーションは、世代を超えた交流やキャリアの体験となり、出会った人たちが教えてくれた、その「まち」の魅力を知れば知るほど、自分の「まち」が好きになっていきます。自分のまちが好きになると、そのまちが自分の居場所になっていく。そしてそのまちのために何が出来るだろうと考えられる人が一人でも多く育って欲しい。COLOMAGA Project はそんな思いで活動しています。

SDGs ESD-J KIDS DESIGN AWARD

わたしたちの活動は、SDGs【持続可能な開発のための2030アジェンダ】の17のゴールのうち「No.4質の高い教育をみんなに」「No.11住み続けられるまちづくりを」を実現するための実践者として、ESD-J【持続可能な開発のための教育】の「未来を変える人づくり」活動として高く評価されています。その活動が認められ、2018年、経済産業省が制定した「キッズデザイン賞・子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門」において受賞することができました。SDGs、キッズデザイン賞と広く社会に認められた活動を通して、未来を担う子どもたちの育成と地域づくりに貢献できればと思います。



ぜひ、この活動をサポートしてください

① この活動にぜひ参加してください！

子ども達の創造性を活かす機会として、雑誌をプロと一緒に作る、この活動に参加してください。作る側でなくても、地域の大人のひとりとして、自分の経験や知識を子どもたちと地域のためにぜひ活かしてください！もし、ご自分で子どもたちと一緒にローカルマガジンを作りたい方は、ぜひご相談ください。わたしたちの仲間が、企画・告知・集客・取材・制作・デザイン等についてノウハウを提供し、サポートさせていただきます。

② コロマガプロジェクトがもっと有名になるのをサポートしてください。

COLOMAGA Project 発足当時、小学生として参加した子どもたちは、もう高校生になりました。その子たちが自分の中の変化や、地域に対する思い、活動への思いを、みなさまの前で講演させていただきます。また、これまでの活動内容や実績を、主催者の大人たちが、みなさまの前でお話いたします。この活動の効果、実績を知りたい方がいらっしゃいましたら、ぜひ事務局までお問い合わせください。

③ 活動が継続できるように、資金のご支援をお願いいたします。

この活動に賛同していただけたら、ぜひ活動資金のご支援をいただければと思います。

【法人の方へ】
 次世代を担う子どもたちの育成は、CSR活動やSDGsの推進の一環にもなり、企業としての社会的な責任を果たすことが出来ます。ぜひご相談ください。

【個人の方へ】
 ご寄付は下記の振込先までお願いいたします。

【ご支援いただきました方へのお礼】
 ・冊子にお名前を掲載させていただきます。
 （希望者のみの掲載になります。）

※お振込の際は、お名前(漢字)と連絡先をメール等でお知らせください。

ご寄付の振込先
 スルガ銀行 函南支店 普通口座 3640030
 口座名義：コロマガプロジェクト イズノクニシパン
 セイサクジツコウインカイ
 ダイヒョウ ナカノアユミ

連絡先：colomaga.izunokuni@gmail.com

編集後記 ●参加してくれたメンバー（五十音順）



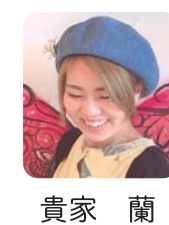
株式会社カラーコード
 クリエイターチームカラフル
 いよいよIZUCCO創刊ですね！取材を通して見た自分のまちに何を感じたでしょうか。デザインや絵は、上手く描く技術より先に、何を感じるかが重要。これからも自分のまちの素顔を感じてください。



IZUCCO
 制作実行委員長
 伊豆市の「KURURA」の活動を伊豆の国市でも！と手を挙げてから1年。皆様のご協力により、IZUCCOを創刊できました。活動を通してまちを知り、好きになってくれた子どもたちが、未来の伊豆の国市を支えてくれると信じています。



IZUCCO
 制作実行委員
 体験・取材・制作を通して、子どもたちの創造性に驚きの連続でした！そんな子どもたちの思いがギュギュッと詰まった一冊です。ぜひ、たくさんの方に読んでいただきたいです。



IZUCCO
 制作実行委員
 子どもたちの、伊豆の国市愛を高めたい！と実行委員へ参加しました。参加した子どもたちがIZUCCOを自慢して、地域愛がどんどん伝染していったら嬉しいです。



IZUCCO
 制作実行委員
 先輩誌KURURAに出会いその魅力に引き込まれ、いつか制作に関わってみたいとずっと思っていました。子どもたちが見つけた「いいら！」がギュッと詰まったこの一冊に関わった事に感謝します。



IZUCCO
 制作実行委員
 活動を通して、子どもたちの笑顔とパワーには沢山刺激を貰いました。真夏の取材や制作ワーク、大変な事もありましたがどれも良い経験です。皆で創り上げたIZUCCOが多くの人に届きますように！

●講師陣プロフィール



カメラ講座
 ファミリーフォトスタジオヒコ代表
 渡邊孝正



ライティング講座
 地域メディアライター
 榎 昭裕



取材講座
 伊豆日日新聞代表
 小川勝之



イラスト講座
 似顔絵屋Tomomi
 長倉智美

「写真の撮り方のコツ」を小学生の皆さんにレクチャーさせていただきました。楽しく話を聞いてくれるみんなの姿を見て、とても嬉しく感じました。これからもたくさん写真を撮ってください、きっと良い思い出になるはずですよ！

今回は「どのように知らない人にモノを伝えるか」をテーマにワークショップを行いました。どの子どもたちもとても楽しく紹介してくれました。この気持ちが将来、このまちの未来を語る「語り部」になるよう期待しています！

みんなが取材活動や編集作業を頑張った情報誌が、ついに完成しました。多くの人たちに楽しんでもらえれば良いですね。この活動をきっかけに、「将来は新聞記者になりたい」と思っていた子どもはいるかな？

イラストの描き方講座では[人に伝わるイラスト]というテーマで話をしました。さすがは子ども記者達！話を聞く姿勢、伝えようとする気持ちがにじみ出ていて、私からはほんの少しのアドバイスだけでとても素敵なイラストを描き始めていました。逆に私が教えられた気分です。ありがとうございました！

●発行／監修：IZUCCO制作実行委員会

編集：IZUCCO制作実行委員会
 協力：伊豆市若者交流施設9iz、いさぶや印刷工業株式会社
 制作：IZUCCO制作実行委員会
 クリエイターチームカラフル、～貴方にあかりを灯します～akari、堀江弓子、井上民子
 デザイン：山田真子
 サポーター：（ご寄付いただいたみなさま 敬称略 順不同）
 山田真子、山本和史、高橋 健、川口由佳、川口 敦、澤田直志、加藤佳菜、
 ISABUYA CREATIVE
 「ヘナとカットのお店CHI Pu」大石アンコ、園木あさみ、中島弓枝、鈴木陽子、山本純乃、
 タイトルロゴ：真子
 辰ノ口奈穂子、コロケさん、お菓子屋かむ、瀬戸京子、滝戸設備、清水 彩、杉本真美
 表紙・裏表紙イラスト：澤菜、竹虎、さくら、菜緒、南実、龍星
 神田辰也、スズケイイチ、タカハシコムテン、匿名(4名)
 後援：伊豆の国市・伊豆の国市教育委員会
 お問い合わせ：IZUCCO制作実行委員会 colomaga.izunokuni@gmail.com ☎055-900-1195
 〒410-2124 静岡県伊豆の国市原木627 代表 中野あゆみ